

- 
- 【1】第18回高校生理学研究発表会の開催概要について
  - 【2】JSEC2023（第21回高校生・高専生科学技術チャレンジ）最終審査結果について
  - 【3】第67回日本学生科学賞の入賞作品の決定について
  - 【4】第20回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2024の募集について
  - 【5】第一回 中高生・教員と若手研究者の「天文対話」のご案内
- 

【1】第18回高校生理学研究発表会の開催概要について

第18回高校生理学研究発表会が終日参加を可能とし、対面によるポスター発表の形式で千葉大学西千葉キャンパスにて開催されることになりました。また、オンラインによる発表資料の公開も併用します。開催日は以下の通りです。

ポスター発表：令和6年9月28日（土）

（感染症・熱中症対策として、パネル間隔を広めにとるため、午前午後でポスターの張り替えを行います）

発表資料の公開（オンライン）：令和6年9月25日（水）～令和6年10月1日（火）

なお、募集期間は令和6年8月27日（火）～令和6年9月2日（月）正午です。

募集件数は400件を上限とし、募集期間内であっても、申込みが400件に達した時点で募集を終了します。

開催方法等は千葉大学高大連携支援室のWEBサイトの「開催概要」（<https://www.cfs.chiba-u.jp/koudai-renkei/event/> より）をご覧ください。

【2】JSEC2023（第21回高校生・高専生科学技術チャレンジ）最終審査結果について

JSEC2023の最終審査会が昨年12月10日（日）に開催されました。千葉県からは渋谷教育学園幕張高等学校の2人での研究が協力社賞、専修大学松戸高等学校の個人研究が優秀賞、渋谷教育学園幕張高等学校の2つの個人研究、市川学園市川高等学校の個人研究が入選、千葉市立千葉高等学校の個人研究が佳作をそれぞれ受賞しました。

詳細は右記のURLをご参照ください。 <https://manabu.asahi.com/jsec/2023/award/index.html>

【3】第67回日本学生科学賞の入賞作品の決定について

第67回日本学生科学賞の受賞作品が決定し、12月22日の中央表彰式で発表されました。千葉県からは中学の部、高校の部とも入賞、入選1等はありませんでしたが、入選2等に東邦大付属東邦高校の3人での研究が、入選3等に千葉市立千葉高校の2人での研究がそれぞれ選ばれました（読売新聞1月11日（木）朝刊地域版の記事より）。

入賞・入選リストは右記のURLをご参照ください。 <https://event.yomiuri.co.jp/jssa/news/files/9>

#### 【4】第20回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2024の募集について

第20回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2024に関する情報が公表されました。

##### (1) 日程

###### ア 実験課題レポートの提出

レポート課題：『身の回りの運動を調べてみよう』

提出期間：2024年4月1日(月)から5月31日(金)24:00，オンライン提出のみ

###### イ 理論問題コンテストの受験

オンライン IBT 試験 90分（自宅や所属校で、パソコンやスマホを使って受験）

実施日：2024年7月7日(日) 10:00-11:30

##### (2) 参加費

第1チャレンジ参加費：2,000円/人

##### (3) 申込

オンライン申込みのみ

申込期間：個人申込みの場合：2024年4月1日(月)～5月30日(木) 13:00 まで

学校一括申込みの場合：2024年4月1日(月)～5月23日(木) 13:00 まで

詳細は次のWEBサイトをご参照ください。 <http://www.jpho.jp>

#### 【5】第一回 中高生・教員と若手研究者の「天文対話」のご案内

中学生，高校生の皆さん，そして，学校教員の皆さん！

天文学の若手研究者と最新の天文学について語り合ってみませんか？

日本天文学会天文教育委員会では，中高生・教員と研究者が最新の天文学について語り合う講演の企画を設けました。

講師は，大阪大学の若手研究者の野田博文さん。X線天文衛星などを駆使してブラックホールの研究を行なわれている方で，その研究成果で，2022年に日本天文学会の研究奨励賞を受賞されています。本講演では，野田さんのお話とともに，参加者の皆さんと交流の機会を持ちます。そこで気になったこと，疑問に思ったこと，天文学者になるまでの道のりなどいろいろ聞いてみませんか？

本企画は，日本天文学会春季年会のジュニアセッションのあとに行なわれます。

この機会にぜひ，ご参加ください。

日時：2024年3月12日(火) 16時45分-18時

場所：東京大学伊藤国際学術センター2階

(アクセス <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/iirc/ja/access.html>)

講師：野田博文(大阪大学)

タイトル：人工衛星に搭載したX線観測装置で捉えるブラックホール

概要：宇宙にあるほぼ全ての銀河の中心には太陽の一億倍もの質量を持つ「ブラックホール」が存在し，宇宙の進化の中で重要な役割を果たしてきたと考えられています。これを探るため，我々は人工衛星に搭載するための観測装置の開発を行い，「X線」というエネルギーの高い光を宇宙から観測することで，ブラックホール近辺の極限環境の研究を進めてきました。

本講演では，最先端のブラックホールのX線観測や，我々がこれまで開発を続け，昨年9月7日に無事打ち上げられた日本の最新のX線天文衛星「XRISM」を用いた研究の展望などを紹介します。

対象：中学生，高校生，学校教員等

形式：ハイブリッド(対面 及び オンライン視聴)

(対面参加は，中高生・学校教員に限定します。オンラインは一般の方も視聴できます)

申込方法：参加希望者は事前に，以下のフォームから申し込みください

<https://forms.gle/ThZpfdyZCC8wKUpL6>

申込締切：2024年2月29日

主催：日本天文学会天文教育委員会

協力：東京大学EMP

後援：日本天文教育普及研究会、日本地学教育学会（予定）

問い合わせ先：kyouiku2023@asj.or.jp

#### 【編集後記】

理数教育，高大連携事業に関する情報共有を目指して千葉大学高大連携支援室よりお送りしております「千葉理数教育高大連携ニュース」ですが，このたびメーリングリスト整理のために，ご送付先の確認をさせていただきました。今回，整理された新たなリストにて高大連携ニュース No.171号発行のメール連絡をさせていただきました。ご協力有り難うございました。

メーリングリスト登録者の方には，連携ニュース発行日（公開日）に記事のタイトル等をメールでお知らせをしています。まだ，高大連携ニュースのメーリングリストに登録されていない先生等で，登録希望の方は「氏名」，「所属（高校等）」，「メールアドレス」を以下のアドレスまでご連絡願います。

[koudairenkei@office.chiba-u.jp](mailto:koudairenkei@office.chiba-u.jp)（橋）